

【特急「A列車で行こう」の魅力】

特急「A列車で行こう」のデザイン

JR九州の人気列車を次々とデザインしてきた水戸岡鋭治氏による最新リニューアル観光特急です。

デザインのコンセプトは、「16世紀大航海時代のヨーロッパ文化」と「古き良き“あまくさ”」としており、教会等をイメージしたカウンターバーやスタンドガラス等が車内を彩ります。

車内での演出

「客室乗務員」が乗務し、観光案内・車内販売を行います。車内販売では、天草地域の特産品の販売を行います。（詳細メニューは検討中です。）

バーカウンターでは、地元の特産品を使ったアルコール飲料やビールなどを販売します。（詳細メニューは検討中です。）

沿線の観光案内に加えて、記念乗車証の配布やフォトサービスを行います。

特急「A列車で行こう」のために、向谷実氏がアレンジしたジャズの名曲「A列車で行こう」が車内でBGMとして流れます。（熊本駅及び三角駅でも同様に、BGMが流れます。）

列車を降りたら、天草宝島ラインと接続しています。天草への観光は、天草宝島ラインが便利です。

三角港で「A列車で行こう」と天草宝島ライン「シークルーズ」が接続します。「シークルーズ」についても、「A列車で行こう」の運行開始に合わせて、船体のリニューアルを行います。

松島（前島港）からは、観光周遊バス「パライゾストローリー号」が1日5便運行しています。松島エリアの島々の鑑賞、天草五橋を渡る観光バスで、上天草市内観光を楽しめます。

本渡港に、「A列車で行こう」の運行日限定で、天草の観光案内を行う「コンシェルジュ」を配置します。本渡港に着いたら、BGMと「コンシェルジュ」のお出迎えの後、定期観光バス「天草ぐるっと周遊バス」に乗って、イルカウォッチングやキリシタンの歴史探訪に出かけませんか。JR券の提示で特典が受けられる観光施設なども多数あります。

【三角駅リニューアル】

特急「A列車で行こう」の運転開始にあわせて、水戸岡鋭治氏のデザインにより、三角駅を大幅にリニューアルします。（別紙「三角駅リニューアル計画」をご覧ください）